第18講　係助詞・間投助詞

PART1　係り結びの法則

係助詞（ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も）

★係り結びの法則

●ぞ・なむ・や・か→「　　」形

●こそ→「　　」形

※「結びの語」＝形を変える部分＝文末

⇐ 係助詞の上を確認→「　　」又は「　　」の部分
その部分が複数の単語で構成されている場合は、
品詞分解をして活用する「　　」の**一単語**のみ。

（例）

夜半(よは)にや君がひとり越ゆらむ

男はこの女をこそ得めと思ふ。

問一　傍線部の係助詞に対応する結びの語を抜き出し、その終止形を書け。

① さることやありし。

② ことば多からぬこそ、飽かず向かはまほしけれ。

③ 心なむまさりたりける。

④ 花こそ咲けれ。

問二　「かひ屋が下も蛙（かはづ）鳴くなり」の「『も』の字」とは何助詞か。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　格助詞
イ　間投助詞
ウ　係助詞
エ　接続助詞
オ　副助詞

問三　空欄ａ・ｂ・ｃには係助詞が入る。ａ・ｂ・ｃをうめる組合せとして最も適当なものを、次の中から選べ。

起きておさへたる［ a ］、少しやすまる心地する。
「今宵ばかりにて［ b ］あれ。」
さもあることと［ c ］思ひけむ。

ア　ａ　こそ　　ｂ　や　　ｃ　か
イ　ａ　こそ　　ｂ　ぞ　　ｃ　や
ウ　ａ　や　　ｂ　ぞ　　ｃ　こそ
エ　ａ　なむ　　ｂ　こそ　　ｃ　や
オ　ａ　なむ　　ｂ　や　　ｃ　か

問四　空欄［A］・［B］に入る語の組み合わせとして、最も適当なものを次の中から選べ。

にほひ［A］少なかりし。

「ここにと［B］は書きたまはめ」

ア　A　ぞ　　B　や
イ　A　ぞ　　B　こそ
ウ　A　こそ　B　こそ
エ　A　こそ　B　や

問五　「これや夢ときの女のもと［A］。」の空欄Aに入る語として適当なものを、次の中から選べ。

ア　なら　イ　なり　ウ　に　エ　なる　オ　なれ

問六　「隆家こそいみじき骨を得て［A］。」の空欄Aに入る最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　はべら　イ　はべり　ウ　はべれ　エ　はべる　オ　はべろ

問七　「学文して花実ならび進まんこそよかる［A］」の空欄Aにふさわしいように、助動詞「べし」を正しい活用形にして記せ。

問八　次の空欄Aには「あり」、空欄Bには「む」を活用させた語が入る。それぞれ適切に活用させて、記せ。

清水に二千度参りたることのみなむ［A］。

「書きて渡さばこそ、受け取ら［B］」と…

A＝　　　　　B＝

〈Memo〉

第18講 PART1 確認問題

①「あまたの年をへぬるになんあり［　］」の空欄に入る語として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　けら　イ　けり　ウ　ける　エ　けれ

②「徳大寺(とくだいじ)にもいかなるゆゑかはべりけん。」の傍線部の活用形として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

③傍線部の係助詞に対応する結びの語として、最も適当なものを次の中から選べ。

今はとて天(あま)の羽衣着るをりぞ君をあはれと思ひ出でける

ア　着る　イ　あはれ　ウ　思ひ出で　エ　ける

④ 「唐土（もろこし）にも、かかることの起こりに［　　］、世も乱れあしかりけれ。」の空欄に入る係助詞として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア ぞ　イ なむ　ウ や　エ か　オ こそ

⑤ 空欄A・B・Cに入る係助詞の組み合わせとして、最も適当なものを後の中から選べ。

家居（いえゐ）に［A］、ことざまは推しはからるれ。
いづれの山［B］天に近き。
白き花［C］咲きたる。

ア A か　B や　C こそ
イ A か　B こそ　C や
ウ A こそ　B か　C や
エ A こそ　B こそ　C や
オ A や　B や　C こそ

第18講　PART1　解答

問一　①　し…き　②　まほしけれ…まほし　③　ける…けり　④　れ…り
問二　ウ
問三　エ
問四　イ
問五　エ
問六　ウ
問七　べけれ
問八　A　ある　B　め

第18講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 係助詞の種類によって「結びの語」を考える問題。上の部分に「なん」があるので、係り結びの法則により、結びの語は助動詞「けり」の連体形となる。

② 助動詞「けん」が「けん」の形となるのは終止形か連体形の場合であるが、ここは上に係助詞「か」があるので、係り結びの法則により文末は連体形となる。

③ 「結びの語」は、上に係助詞があることで形を変える部分のことである。係助詞よりも下にあり、文末の一単語のみが該当する。

④ 「結びの語」によって係助詞の種類を考える問題。文末が助動詞「けり」の已然形「けれ」となっていることに着目する。係助詞「こそ」のみ、結びが已然形となる。

⑤ 「結びの語」によって係助詞の種類を考える問題。「こそ」が上にある場合のみ、結びの語は已然形となる。「ぞ」「なむ」「や」「か」がある場合は、結びの語は連体形となる。「るれ」は助動詞「る」の已然形、「近き」は形容詞「近し」の連体形、「たる」は助動詞「たり」の連体形。

〔解答〕

① ウ

② エ

③ エ

④ オ

⑤ ウ